

水系 1 液高性能多機能クリヤー シリーズ

IP 水性高性能クリヤー シリーズ

水系1液高耐候性塗装面保護クリヤー〔内外部用〕

IP 水性UVクリヤー Si

水系1液高耐候性金属用クリヤー〔内外部用〕

IP 水性金属用クリヤー Si

水系1液耐皮脂性クリヤー〔内外部用〕

IP 水性ノントッククリヤー Si

水系1液高レベリング床用ウレタンクリヤー〔内部用 準外部用〕

IP 水性フロアクリヤー U

◆環境対応型(エコ)水系塗料◆

F☆☆☆☆

低VOC

トルエン・キシレンゼロ配合

鉛・クロムゼロ配合

IP水性高性能クリヤー シリーズ

IP水性UVクリヤー-Si
IP水性金属用クリヤー-Si
IP水性ノンタッククリヤー-Si
IP水性フロアクリヤー-U

あらゆる用途に対応できる

水系1液高性能クリヤーをラインアップ

IP水性高性能クリヤーシリーズは、それぞれの用途に応じ、優れた塗膜性能を兼ね備えた水系1液高性能クリヤーとして4製品ラインアップしています。艶のバリエーションも豊富で、建築塗装に必要とされるあらゆる要望を満たし、これまでの水系クリヤーのイメージを一新するオール水系化の仕様を実現します。

また環境面においても、トルエン・キシレン・鉛・クロムなどの有害物質は全く含まず、弱溶剤塗料に比べ塗装中・塗装後の溶剤臭などについても大幅に軽減し、安心してご使用いただけます。

水系1液高耐候性塗装面保護クリヤー〔内外部用〕

IP水性UVクリヤー-Si (艶有り・3分艶・5分艶調整)

特長

優れた耐候性・UVカット機能

高耐候性シリコン樹脂に加え、さらに紫外線による影響を抑制する効果により、クリヤー塗膜自体の劣化を最小限に抑えます。

また、UVカット効果を付加することにより塗装面(新設)・木部の劣化、退色を大幅に軽減します。

トップクラスの仕上がり性

水系クリヤーとしてハイレベルなレベリング性を付与していますので、ハケ目・ローラーマークなどを軽減し、均一な塗膜を形成します。

また、3分艶・5分艶調整においては透明性が高く、より一層きれいな面に仕上がります。

防カビ・防藻性

優れた耐候性塗膜に、防カビ剤と防藻剤を添加させることで、塗膜表面の劣化による生物系(カビ・藻)の侵入を防ぎ、また防カビ剤と防藻剤によりシャットアウトします。

豊富な艶のバリエーション

艶のバリエーションとして、艶有りと3分艶をご用意していますので、幅広いニーズに対応いただけます。さらに、5分艶調整[※]についても調整いたします。 ※別途調整料が必要となります。

水系1液高耐候性金属用クリヤー〔内外部用〕

IP水性金属用クリヤー-Si (艶有り)

特長

驚異の密着性

建築における鉄部面・カラートタン・電気亜鉛めっき鋼板(ボンデ鋼板)はもとより、密着が難しいとされる熔融亜鉛めっき鋼板(トタン鋼板)においても、全面にプライマー・サビ止め工程を行わず、直接塗装ができる他に類のない驚異の密着性を兼ね備えています。

優れた防錆効果

疎水性塗膜を形成することにより、サビの主要因である水分を遮断します。また、緻密な塗膜構造により酸化を抑制することで、高い塗膜防錆を發揮します。また、防錆剤を付加することにより、塗膜防錆との相乗効果で優れた防錆効果を發揮します。

優れた耐候性

高耐候性シリコン樹脂に加え、さらに紫外線による影響を抑制する効果により、クリヤー塗膜自体の劣化を最小限に抑えます。また、クリヤーを塗装することにより、金属面の劣化、変色、サビの発生を長期にわたり大幅に軽減します。

無公害水系クリヤー

環境面においては、トルエン・キシレン・鉛・クロムなどの有害物質を全く含まず、また強溶剤系・弱溶剤系塗料と比べ、塗装中および塗装後の溶剤臭などについても大幅に軽減し、安心してご使用いただけます。

促進耐候性試験

IP水系UVクリヤー-Si



クリヤー無塗装



照射前 1000h 2000h 3000h

スーパーキセノン照射時間(h)

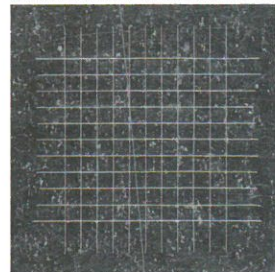
塗膜性能試験

密着性試験

クロスカット試験

トタン板 JIS G 3302

(熔融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)



防錆性試験

塩水噴霧試験(3時間)

鉄板 JIS G 3141

(冷間圧延鋼板及び鋼帯)



上:クリヤー塗装 有
下:クリヤー塗装 無

素地調整後、直接1回塗装し、7日間乾燥

水系1液耐皮脂性クリヤー〔内外部用〕

IP 水性ノンタッククリヤー-Si (艶有り・5分艶調整)

特 長

優れた耐皮脂性

屋外、屋内において、特に人の手などが触れる手すり、ドアなどにおいて、皮脂(脂肪酸)の影響を受け、一般的な塗膜は軟化したり、ベタツキ、ハクリを起こします。このような特殊な箇所・条件下において皮脂による影響を最小限に抑えるクリヤーです。

耐ブロッキング性 タック軽減

夏場など高温時、または高湿度時においてクリヤー表面にベタツキ(タック)感がなく、さらっと仕上がりますので、手あかなどの汚れの付着を軽減します。

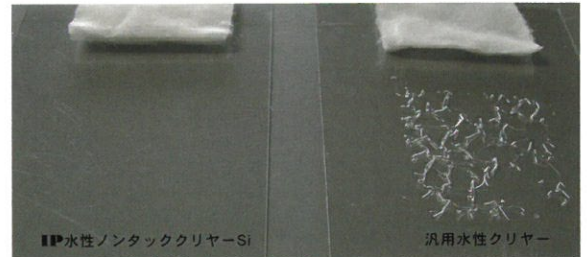
優れた耐候性

高耐候性シリコン樹脂に加え、さらに紫外線による影響を抑制する効果により、クリヤー塗膜自体の劣化を最小限に抑えます。また、UVカット効果を付加することにより塗装面(新設)・木部の劣化、退色を大幅に軽減します。

無公害水系クリヤー

環境面においては、トルエン・キシレン・鉛・クロムなどの有害物質を全く含まず、また強溶剤系・弱溶剤系塗料と比べ、塗装中および塗装後の溶剤臭などについても大幅に軽減し、安心してご使用いただけます。

耐皮脂性試験



- ① クリヤーを塗布し、50℃で4日間乾燥。
- ② 一級オレイン酸(皮脂の成分として)を含ませた脱脂綿を接触させ8時間放置。
- ③ 脱脂綿を除き、中性洗剤で水洗い後、乾燥させた接触面の状態を観察。

水系1液高レベリング床用ウレタンクリヤー〔内部用 準外部用〕

IP 水性フロアクリヤーU (艶有り・3分艶・5分艶調整)

特 長

抜群の仕上がり面

ウレタン樹脂を主成分とすることで、水系クリヤーのイメージを一新する驚異のレベリング性により、高い平滑面の仕上がり得られます。また、他社の水系クリヤーに比べて乾燥後の透明性が高く、濡れ色になりにくい特性もあわせ持ち、素地の風合いを活かしたクリヤー仕上げに最適です。

豊富な艶のバリエーション

艶のバリエーションとして、艶有りと3分艶をご用意していますので、幅広いニーズに対応いただけます。さらに、5分艶調整[※]についても調整いたします。[※]別途調整料が必要となります。

優れた耐摩耗性・耐汚染性

強靱な塗膜を形成することにより、ヒールマーク等の擦り傷防止効果に優れます。また、塗膜表面のベタツキを抑えることで、抜群の耐汚染性を発揮します。

無公害水系クリヤー

環境面においては、トルエン・キシレン・鉛・クロムなどの有害物質を全く含まず、また強溶剤系・弱溶剤系塗料と比べ、塗装中および塗装後の溶剤臭などについても大幅に軽減し、安心してご使用いただけます。

塗膜性能試験

試験項目	試験結果		試験方法
	艶有り	3分艶	
光沢(%)	83~86	9~13	鏡面光沢度 G60°
硬度	H	2H	鉛筆硬度
耐摩耗性	0.24	0.29	テーバー型試験機 (1kg 500回)
滑り係数	乾燥状態	1.2	JIS A 1454 すべり抵抗性(C.S.R) [*] 履物の場合 0.4以上 素足の場合 0.7以上
	湿潤状態	0.9	
耐水性	◎	◎	水道水に96時間浸漬
耐アルカリ性	◎	◎	飽和水酸化カルシウムに7日間浸漬
灯油・マシン油 5%塩酸水 2%カセイソーダ水	◎	◎	接触法耐性 120時間放置
コーヒー・ソース 醤油・食酢 食器用洗剤	◎	◎	汚染除去性 96時間放置

※日本塗料検査協会 試験

IP水性UVクリヤーSi 仕様書

■標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・木部にシミ・ヤニの発生がある場合は十分に除去してください。また、吸い込みが激しい場合は、シーラー処理としてIP含浸シーラー ^{※1} を使用してください。				
クリヤー (1回) ^{※2}	IP水性UVクリヤーSi	3~8% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	——

(注) IP製品のトップコートにIP水性UVクリヤーSiを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。

(注) クリヤー塗膜裏面から水分などの影響を受ける箇所や耐水性の低い塗膜への塗装、またサビ汁の影響を受ける箇所への塗装は避けください。

(注) サイディングなどの再生工法として、本製品を使用しないでください。

※1 IP含浸シーラーは、原体使用にて1回塗り(0.12~0.15kg/m²)。

※2 3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工し、2回塗りにて塗装してください。塗装後、2時間以上放置乾燥してください。

■施工についての注意事項

- ◆シーリング材を施工する場合は、後打ちにて施工してください。
- ◆吸い込みが激しい素地の場合はシーラー工程を必ず行ってください。また、IP含浸シーラーはカチオン系ですので他の塗料と混合したり塗装器具を洗浄せず共用しないでください(ゲル化します)。
- ◆3分艶・5分艶調整においては艶ムラを軽減するスプレー塗装をお奨めします。
- ◆可動部、および床面など耐摩耗性が要求される箇所、または塗膜同士が接触する箇所への塗装は避けください。
- ◆クリヤー自体には、素地からの溶出物(エフロレッセンス・サビ汁・可塑剤など)を抑える効果はありません。
- ◆外部へ本製品を使用する場合は、塗膜性能および仕上がりなどに影響する可能性がありますので、2回塗りをお奨めします。3分艶・5分艶調整仕上げの場合は1回目に艶有りクリヤーを施工してください(放置乾燥2時間以上)。
- ◆その他の注意事項に関しては、【共通】施工についての注意事項に準じます。

IP水性金属用クリヤーSi 仕様書

■標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認)				
クリヤー (1回) [※]	IP水性金属用クリヤーSi	3~8% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	——

(注) IP製品のトップコートにIP水性金属用クリヤーSiを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。

(注) クリヤー塗膜裏面から水分などの影響を受ける箇所や耐水性の低い塗膜への塗装、またサビ汁の影響を受ける箇所への塗装は避けください。

※ クリヤー2回塗りの場合は1回目のクリヤー塗装後、2時間以上放置乾燥してください。

■施工についての注意事項

- ◆新設の金属面には、油脂類が付着している場合がありますので、必ず脱脂を行ってください。
- ◆本製品の密着性として記載しています素地(各種金属面)以外、またはJIS・表面処理・番手(ステンレス鋼板・アルミ板)などが不明な素地への塗装については密着・仕上がりなどに影響する場合がありますので、必ず事前に現場にて試験塗りを行ってください。
- ◆可動部、および床面など耐摩耗性が要求される箇所、または塗膜同士が接触する箇所への塗装は避けください。
- ◆外部へ本製品を使用する場合は、塗膜性能および仕上がりなどに影響する可能性がありますので、2回塗りをお奨めします。1回目のクリヤーの乾燥を確認の上(放置乾燥2時間以上)2回目のクリヤーを施工してください。
- ◆その他の注意事項に関しては、【共通】施工についての注意事項に準じます。

IP水性ノントッククリヤーSi 仕様書

■標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・木部にシミ・ヤニの発生がある場合は十分に除去してください。また、吸い込みが激しい場合は、シーラー処理としてIP含浸シーラー ^{※1} を使用してください。				
クリヤー (1回) ^{※2}	IP水性ノントッククリヤーSi	3~8% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー スプレー	——

(注) IP製品のトップコートにIP水性ノントッククリヤーSiを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。

(注) クリヤー塗膜裏面から水分などの影響を受ける箇所や耐水性の低い塗膜への塗装、またサビ汁の影響を受ける箇所への塗装は避けください。

(注) サイディングなどの再生工法として、本製品を使用しないでください。

※1 IP含浸シーラーは、原体使用にて1回塗り(0.12~0.15kg/m²)。

※2 5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工し、2回塗りにて塗装してください。塗装後、4時間以上放置乾燥してください。

■施工についての注意事項

- ◆シーリング材を施工する場合は、後打ちにて施工してください。
- ◆吸い込みが激しい素地の場合はシーラー工程を必ず行ってください。また、IP含浸シーラーはカチオン系ですので他の塗料と混合したり塗装器具を洗浄せず共用しないでください(ゲル化します)。
- ◆5分艶調整においては艶ムラを軽減するスプレー塗装をお奨めします。
- ◆可動部、および床面など耐摩耗性が要求される箇所、または塗膜同士が接触する箇所への塗装は避けください。
- ◆クリヤー自体には、素地からの溶出物(エフロレッセンス・サビ汁・可塑剤など)を抑える効果はありません。
- ◆外部へ本製品を使用する場合は、塗膜性能および仕上がりなどに影響する可能性がありますので、2回塗りをお奨めします。5分艶調整仕上げの場合は1回目に艶有りクリヤーを施工してください(放置乾燥4時間以上)。
- ◆その他の注意事項に関しては、【共通】施工についての注意事項に準じます。

環境対策

■ホルムアルデヒド放散等級（日本塗料工業会）

- 国土交通省 建築基準法 F☆☆☆☆
- IP水性UVクリアーSi 登録番号:I01126
 - IP水性金属用クリアーSi 登録番号:I01128
 - IP水性ノンタッククリアーSi 登録番号:I01127
 - IP水性フロアクリアーU 登録番号:I01129

■低VOCタイプ

- VOCを標準とした室内塗料分類
(エマルジョン塗料VOC対策品)
- IP水性UVクリアーSi W1
 - IP水性金属用クリアーSi W1
 - IP水性ノンタッククリアーSi W3
 - IP水性フロアクリアーU W3

■鉛ガイドライン

- 東京都「鉛ガイドライン」(含有量0.06%以下) ゼロ配合

■健康リスクに対する建築用塗料の目標基準(日本塗料工業会)

塗料設計条件 (エマルジョン塗料)	目標基準	評価結果
TVOC(全揮発性有機化合物)	1%以下	適合
芳香族系炭化水素	0.1%以下	適合
アルデヒド類	0.01%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合

(■IP水性高性能クリアーシリーズ)

■厚生労働省(13物質)、文部科学省(6物質)、国土交通省(5物質)VOC規制対策

化学物質名		評価結果	
文部科学省	国土交通省	ホルムアルデヒド	ゼロ配合
	トルエン	ゼロ配合	
	キシレン	ゼロ配合	
	エチルベンゼン	ゼロ配合	
	スチレン	ゼロ配合	
厚生労働省	パラジクロロベンゼン	ゼロ配合	
	アセトアルデヒド	ゼロ配合	
	テトラデカン	ゼロ配合	
	クロルピリホス	ゼロ配合	
	フェノバルブ	ゼロ配合	
	ダイアジノン	ゼロ配合	
	フタル酸ジ-n-ブチル	ゼロ配合	
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	ゼロ配合	

(■IP水性高性能クリアーシリーズ)

用途・性能

用途		■IP水性UVクリアーSi	■IP水性金属用クリアーSi	■IP水性ノンタッククリアーSi	■IP水性フロアクリアーU
壁面	塗装面(新設) (素地:各種サイディングボード・モルタル・コンクリート・スレートなど)	○	—	○	—
	木部	○	—	○	—
	ボンデ鋼板(JIS G 3313)	—	○	—	—
	トタン板(JIS G 3302)	—	○	—	—
	鉄板(JIS G 3141)	—	○	—	—
	ガルバリウム鋼板(JIS G 3321)	—	○	—	—
	ステンレス鋼板(JIS G 4305)	—	○	—	—
	アルミ板(JIS H 4000)	—	○	—	—
	カラートタン(JIS G 3312)	—	○	—	—
硬質塩ビ板(JIS K 6745)	—	○	—	—	
床面	木部(床面)	—	—	—	○
	モルタル・コンクリート(床面)	—	—	—	○
性能	内部用	○	○	○	○
	外部用	○	○	○	△*
	防カビ・防藻効果	○	—	—	—
	耐皮脂性	—	—	○	—
	耐摩耗性	—	—	—	○

※ 準外部用

荷 姿

製品名	艶	荷 姿	施工面積
■IP水性UVクリアーSi	艶有り・3分艶 5分艶調整*	15kg (石油缶)	125 ~ 187㎡ (1回塗りの場合) / 15kg 62 ~ 93㎡ (2回塗りの場合) / 15kg
■IP水性金属用クリアーSi	艶有り		
■IP水性ノンタッククリアーSi	艶有り 5分艶調整*	3.5kg (ガロン缶)	29 ~ 43㎡ (1回塗りの場合) / 3.5kg 14 ~ 21㎡ (2回塗りの場合) / 3.5kg
■IP水性フロアクリアーU	艶有り・3分艶 5分艶調整*		62 ~ 93㎡ (2回塗りの場合) / 15kg 14 ~ 21㎡ (2回塗りの場合) / 3.5kg

※ 別途調整料が必要となります。

IP水性フロアクリヤーU 仕様書

■コンクリート・モルタル(床面)、新設および塗り替え 標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・表面にレイタンスなどの脆弱層がある場合は密着不良を起こしますので、ポリッシャーなどの適切な除去方法を用いて完全に除去し、必ず事前に試験塗りにて密着、仕上がりが感など問題のないことを確認してください。 ・新設のコンクリートはpH10以下、含水率5%以下になるまで養生放置(約4週間以上)してください。				
シーラー	IP含浸シーラー	原体使用	0.12~0.15kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	2時間以上
下塗り	IP水性フロアクリヤーU(艶有り)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上
上塗り	IP水性フロアクリヤーU(各艶)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上 (開放)

(注) IP製品(床材)のトップコートにIP水性フロアクリヤーUを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。
 (注) 3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。
 (注) クリヤー塗膜裏面から水分などの影響を受ける箇所や耐水性の低い塗膜への塗装、またサビ汁の影響を受ける箇所への塗装はお避けください。
 (注) 表面にワックスなどの特殊な処理を施している場合は、専用のハクリ剤とポリッシャーを併用するなど、適切な方法を用いて完全に除去してください。

■木部(床面)、新設および塗り替え 標準施工仕様書

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に除去してください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・サンドペーパー#180~#240で研磨し表面を整えてください(研磨粉は十分に除去、洗浄)。 ・試験塗りを行った後に、木のアク・ヤニ・シミの発生がある場合は十分に除去し、シーラー処理としてIP含浸シーラー※1をご使用ください。また、既存塗膜がある場合もIP含浸シーラー※1をご使用ください。				
下塗り	IP水性フロアクリヤーU(艶有り)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上
上塗り	IP水性フロアクリヤーU(各艶)	5~10% (清水)	0.08~0.12kg/m ²	ハケ・ローラー (スプレー)	5時間以上 (開放)

(注) 木材の種類、及び吸込みの状況によっては塗り回数が多くなる場合があります。
 (注) IP製品(床材)のトップコートにIP水性フロアクリヤーUを使用する場合は、各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。
 (注) 3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。
 (注) クリヤー塗膜裏面から水分などの影響を受ける箇所や耐水性の低い塗膜への塗装、またサビ汁の影響を受ける箇所への塗装はお避けください。
 (注) 表面にワックスなどの特殊な処理を施している場合は、専用のハクリ剤とポリッシャーを併用するなど、適切な方法を用いて完全に除去してください。
 ※1 IP含浸シーラーは、原体使用にて1回塗り(0.12~0.15kg/m²)。

■施工についての注意事項

- ◆必ず事前に水勾配がないか(タレの原因)、降雨、水などが溜まる箇所でないか(耐水白化の原因)を確認してください。
- ◆乾燥後、約1週間(20℃ RH65%)で本来の塗膜性能を発揮しますので、乾燥後すぐに物を置かないでください。
- ◆コンクリート・モルタル面、および既存塗膜の塗替えの場合はシーラー工程を必ず行ってください。また、IP含浸シーラーはカチオン系ですので他の塗料と混合したり、塗装器具を洗浄せず共用しないでください(ゲル化します)。
- ◆コテ磨きなど密度の高い未塗装のコンクリート・モルタル面、強化コンクリート、着色コンクリート(カラーコンクリート)など特殊な素地への塗装はお避けください。また、既存塗膜の種類(ウレタン樹脂系、エポキシ樹脂系、弾性系塗料など)によっては、密着・ワレなどに影響する場合がありますので、試験塗りにて密着や塗膜の状況を確認してください。
- ◆軽車両・人などが頻繁に往来する箇所については、事前に試験塗りにて塗膜適性を確認してください。また、3分艶・5分艶調整仕上げの場合は、下塗りに艶有りクリヤーを施工してください。
- ◆その他の注意事項に関しては、【共通】施工についての注意事項に準じます。

■【共通】施工についての注意事項

- ◆施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点については、お問い合わせください。また素地調整は必ず念入りに行ってください。
- ◆必ず事前に試験塗りにて仕上がりが感、密着など問題のないことを確認してください。また塗装中、塗装後、および塗料の取り扱い作業時は、換気を十分に行ってください。
- ◆可塑剤が多く含まれる塩化素地、シーリング材など、またはそれらが接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆各仕様書は標準的な施工仕様書です。希釈率、塗布量、および施工面積は素地表面状態や塗装条件により異なります。また一度に記載塗布量を超えての厚塗りはしないでください。
- ◆降雨・強風が予想される日、気温5℃以下(表面温度が5℃以下)、湿度85%以上の場合は塗装をお避けください。また夏期の炎天下などは表面の温度が高いため塗膜乾燥が早まり、塗膜本来の優れたレベリング性能などを阻害する恐れがありますので、希釈率を調整したり朝夕など涼しい時間帯の施工をお奨めします。
- ◆各工程において施工面にホコリ、黄砂などの粉塵が飛来していないか十分に確認し、飛来している場合は除去、水洗いを行ってください。
- ◆ローラー塗装の場合は無泡ローラー、ハケ塗装の場合はナイロンハケ(水性ハケ)をお奨めします。スプレー塗装の場合はオーバースプレーや周囲への飛散に十分留意してください。また、塗装後、4~5時間は降雨、降雪、結露(夜露)に十分注意してください。
- ◆塗装方法により希釈率を調整してください。尚、希釈率が規定量を超えますと、塗膜性能の低下やタレなどの原因となります。
- ◆塗装において極端な膜厚の差には注意して、均一な膜厚になるよう施工してください。艶ムラの原因となります。
- ◆内容物が均一になるようによく攪拌してからご使用ください(泡が入らないように攪拌してください)。
- ◆乾燥を十分確認した後、次の工程を行ってください。特に冬期・梅雨期の施工は気温や湿度の影響により乾燥が遅れる場合がありますので、十分に注意してください。
- ◆塗料の保管、または運搬については、直射日光・風雨を避け、雰囲気温度が40℃以上、0℃以下の状況には置かないでください。また、開缶後はなるべく早めにご使用ください。
- ◆本カタログの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

□製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

代理店名

IP インターナショナルペイント株式会社


 本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
 TEL 087-833-3525 / FAX 087-833-3527
 関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952
 TEL 048-644-3528 / FAX 048-643-5291
 関西支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-6-13
 TEL 06-6978-6855 / FAX 06-6978-6856
 九州出張所 〒814-0174 福岡市早良区田隈1-14-1
 TEL 092-836-5090 / FAX 092-836-5091